

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和7年度病虫害発生予察技術情報第13号について(送付)

このことについて、病虫害発生予察技術情報第13号(イチゴ炭疽病菌薬剤感受性検定結果)を発表したので送付します。

技術情報第13号**1 対象作物名：イチゴ****2 病虫害名：イチゴ炭疽病****3 材料および方法****(1) 検定した炭疽病菌**

令和6年度と7年度に県内で発生したイチゴ炭疽病の罹病株より分離した。

- ・採取ほ場数 21か所(令和6年度6か所, 令和7年度15か所)
- ・菌株数 64株(令和6年度17株, 令和7年度47株)

(2) 供試薬剤

供試した薬剤と培地の薬剤濃度は表1の通り。

表1 供試薬剤及び判定方法

供試薬剤 (FRACコード)	商品名	培地添加濃度 (ppm)	感受性低下菌(耐性菌) の判定方法
アゾキシストロビン(11)	アミスター20フロアブル	100	菌糸伸長あり
ベノミル(1)	ニマイバー水和剤 ^{注)}	100	菌糸伸長あり
ジエトフェンカルブ(10)		100	菌糸伸長あり
フルジオキシニル(12)	セイビアーフロアブル	1	菌糸伸長率が無添加比70%以上

注) ベノミル・ジエトフェンカルブ剤について、ゲッター水和剤も同一系統の薬剤である。

(3) 検定方法

所定の濃度の薬剤を含むPDA培地上に径6mmの菌叢を置き、28℃で3日間培養した後、菌糸の伸長の有無または薬剤無添加培地との伸長率の比により感受性(耐性)を判定した(希釈平板法)。各薬剤に対し感受性が低下した菌株(耐性菌)の判定方法を表1に示した。

4 結果の概要(表2)

- (1) アゾキシストロビン耐性である菌株の割合は76.6%であった。
- (2) ベノミル耐性でジエトフェンカルブ感受性(R・S)の菌株の割合は57.8%、ベノミル感受性でジエトフェンカルブ耐性(S・R)の菌株割合は37.5%であった。ニマイバー水和剤やゲッター水和剤に耐性があると判断される両剤に耐性(R・R)の菌株割合は4.7%(64菌株中3菌株)であり、その3菌株

は全てアゾキシストロビンに耐性を示した。

- (3) フルジオキシニル耐性の菌株割合は1.6% (64 菌株中 1 菌株) であり、その菌株はアゾキシストロビン、ベノミル、ジエトフェンカルブのいずれにも耐性を示した。

表2 県内のイチゴ炭疽病菌の薬剤感受性検定結果

	供試 菌株	アゾキシストロビン	ベノミル・ジエトフェンカルブ			フルジオキシニル
		R 注)	R・S	S・R	R・R	R
菌株数	64	49	37	24	3	1
割合(%)	100	76.6	57.8	37.5	4.7	1.6

注) R : 耐性、S : 感受性

4 防除上注意すべき事項

- (1) 親株の展葉が始まる2月下旬から定期的な予防散布を開始する。降雨前後や摘葉後は必ず防除する。
- (2) 同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。保護殺菌剤 (FRAC コードでMのあるもの) を積極的に使用し、当面、アゾキシストロビン剤等 FRAC コード 11 の薬剤及びベノミル剤等 FRAC コード 1 の単剤による炭疽病防除は控える。
- (3) ほ場で発病株を確認したら、速やかに除去し、適切に処分する。発病株や罹病残渣は肥料袋等にいれ、その重量の半量の水を加え、袋内の空気を抜いて密閉後、日当たりのよい野外に放置、発酵させることで菌の不活化を図る。
- (4) 本病は主に降雨で感染が拡大するため、雨よけ施設、育苗棚での採苗、育苗が望ましい。また、泥水の跳ね返りを防ぐため、防草シートやマルチで地面を被覆する。
- (5) 親株からの感染を防ぐため、採苗及びランナーの切り離しは降雨時を避け、採苗後は速やかに親株を除去する。
- (6) 育苗床の湿度が高いと発病しやすいため、ほ場の排水を図るとともに、かん水過多にならないようかん水量 (時間・回数) をこまめに調整する。苗の間隔を空け、風通しを良くする。かん水はできるだけ点滴チューブなどを用いて株元に行う。
- (7) 窒素肥料を多用すると発病しやすいため、適正な肥培管理に努める。

○病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。

福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fukuoka-bouzyosyo.html>

または右QRコード①

①⇒



○Xで定期情報や警報等発出のお知らせをしています。

Xの本アカウント (福岡県農作物病害虫情報) へのアクセス

URL: https://x.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード②

②⇒

